

## 創業者精神

創業者の安藤百福が掲げた4つの言葉、  
**「食足世平」「食創為世」「美健賢食」「食為聖職」**を、  
グループ理念の基となり、  
変わることのない創業の価値観と位置づけています。

しょくそくせへい

# 食足世平

『食が足りてこそ世の中が平和になる』

食は人間の命を支える一番大切なものです。文化も芸術も思想も、すべては食が足りてこそ語れるものです。食のあり様が乱れると、必ず国は衰退し、争いが起こります。食が足りて初めて世の中が平和になるのです。日清食品グループの事業は、人間の根源から出発しています。

しょくそういせい

# 食創為世

『世の中のために食を創造する』

企業にとってもっとも大切なものは、創造的精神です。創造とは、新しい発想と技術によって革新的な製品を生み出す力です。食を創り、世のためにつくす。日清食品グループは、世の中に新しい食の文化を創造し、人々に幸せと感動を提供します。

びけんけんしょく

# 美健賢食

『美しく健康な体は賢い食生活から』

空腹を満たし、味覚を満足させたいと思うことは、人間共通の欲求です。しかし、食に求められるのはそれだけではありません。美しい体をつくり、健康を維持することが、食品の持つ大切な機能なのです。美しく健康な体は賢い食生活からつくられます。日清食品グループは、食の機能性を追求し、世の中に「賢食」を提唱します。

しょくいせいしょく

# 食為聖職

『食の仕事は聖職である』

食は人々の生命の根源を支える仕事です。食の仕事に携わる者は、社会に奉仕するという清らかな心を持って、人々の健康と世界の平和に貢献していかなければなりません。食の仕事は聖職なのです。安全でおいしくて体にいい食品を世の中に提供していくことが、日清食品グループの使命です。